

※実務経験のある教員による授業科目

### 授業概要

世界遺産は顕著な普遍的価値のある文化財、また後世に遺したい自然を国際的に保全していくために1978年から登録が始ったものであり、それらは観光の対象としてだけでなく、サステナブルツーリズム（持続可能な観光産業）としての側面を踏まえて理解を深める必要がある。講師は旅行業界に在籍中、日本国内はもとより海外の世界遺産も多数訪問した経験を踏まえて、特徴のある世界遺産の数々を観光の側面から実務色豊かに取り上げて講義を展開する。「世界遺産＋観光・宗教・歴史」といった様々な切り口の講義は、世界遺産および観光双方の知見を高めるとともに大学生としての知識を豊かにするものとなる。

### 授業計画

第1回	オリエンテーション 評価方法・受講ルール、世界遺産検定の説明と本講義との接点、世界遺産とは？ 世界遺産誕生の歴史
第2回	日本の世界遺産① 世界遺産登録のプロセス、日本政府の手順、登録物件と暫定リスト
第3回	日本の世界遺産② 最新の登録物件
第4回	日本の世界遺産③ 木造建築・日本古来の宗教観・日本人の生活様式が生んだ遺産
第5回	日本の世界遺産④ 四季の国の自然遺産
第6回	海外の世界遺産① 世界遺産王国「イタリア」の遺産から、気候変動に消えゆく危機
第7回	海外の世界遺産② 環境と景観保護の国「フランス」の遺産から
第8回	海外の世界遺産③ イギリス・スペイン・ポルトガルが占領した「中南米・アフリカ」の遺産
第9回	海外の世界遺産④ 新大陸「アメリカ」の自然遺産、いかにして世界最強国は作られたか
第10回	海外の世界遺産⑤ 中東の謎に迫る「世界3大宗教の聖地」
第11回	海外の世界遺産⑥ 渡豪歴20回以上の経験から語る「オーストラリア・NZ」の遺産
第12回	日本・海外の負の遺産、人類が忘れてはいけない教訓として
第13回	危機遺産と登録が抹消された遺産
第14回	無形文化遺産 世界に誇る和食の魅力
第15回	まとめと振り返り、理解度チェック小テスト
第16回	試験もしくは最終レポート提出

### 到達目標

- 世界遺産を物件単体としての知識だけでなく、観光の側面・歴史・宗教観と結びつけて考えることができるようになる。
- 講師の旅行実務の経験値を反映した解釈と関連知識によって、世界遺産を新たな視点から考察する能力を養う。

### 履修上の注意

- 授業計画は変更になることがある。
- 講師の訪問経験や実務の経験を反映した講義を展開し、授業では動画やウェブサイトを取り入れる。
- 本授業は、「世界遺産検定」資格取得につながる講義を行うものではないので、検定対策は行わない。受講目的が検定対策の場合は学内の「資格講座」（エクステンションセンター）を利用すること。

### 予習・復習

予習：次回取り上げる課題を提出する。

復習：授業の課題を復習として提出する。

### 評価方法

毎回の課題提出（30%）、理解度小テスト（30%）、最終課題レポート（40%）

### テキスト

テキストは指定しない。

動画の視聴やウェブサイトの閲覧を講義内で指示する。